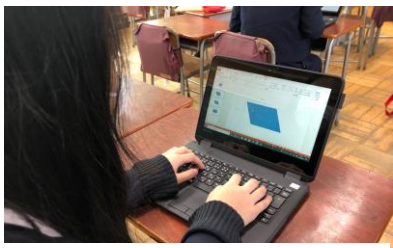


支援機器等教材活用実践事例フォーマット

実践年度・タイトル		平成(30)年度 プレゼンテーション機能を用いた図形作成と面積の求め方
授業について	教科名等	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 算数/数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作/美術 <input type="checkbox"/> 家庭/技術・家庭 <input type="checkbox"/> 体育/保健体育 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/> その他の教科 <input type="checkbox"/> その他()
	単元・題材名	多角形
	授業の目標	・図形についての観察や構成などの活動を通して、平面図形についての理解を深めるようにする。 ・図形の性質を見だし、それを用いて図形を調べたり構成したりすることができるようにする。
	学力の3要素	<input checked="" type="checkbox"/> 「知識及び技能」 <input checked="" type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」 <input checked="" type="checkbox"/> 「主体的に学習に取り組む態度」
学習集団と子供の実態	学校・学部・学年・人数	<input checked="" type="checkbox"/> 通常の学級 <input type="checkbox"/> 通級による指導 <input type="checkbox"/> 特別支援学級 <input type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> 就学前 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以降 <input type="checkbox"/> 特定されない (5)年 (32)人
	対象の障害	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/> 言語障害 <input type="checkbox"/> 自閉症 <input type="checkbox"/> 情緒障害 <input checked="" type="checkbox"/> LD(学習障害) <input type="checkbox"/> ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input type="checkbox"/> その他
	子供の困難さ	<input checked="" type="checkbox"/> 見ること <input type="checkbox"/> 聞くこと <input type="checkbox"/> 話すこと <input checked="" type="checkbox"/> 読むこと <input checked="" type="checkbox"/> 書くこと <input type="checkbox"/> 動くこと <input type="checkbox"/> コミュニケーションをすること <input type="checkbox"/> 気持ちを表現すること <input type="checkbox"/> 落ち着くこと・集中すること <input checked="" type="checkbox"/> 概念(時間、大きさ等)を理解すること <input type="checkbox"/> 学習(計算、推論等)すること <input type="checkbox"/> その他 漢字を書くこと、パンス入、整えることができず、定着しない。既習の字の漢字は、一定期間を経過すると忘れてしまう。 ・自分の考えなどを文章に構成することに困難を抱え、書くことに時間がかかる。 ・長文を読むことに時間がかかり、他の児童よりも時間がかかるため、内容理解が不十分になってしまう。 ・図形で指定されている数値(長さや角度)の読取りが困難で、図形を正しく書く場合、間違えたり、時間を多く要す
支援機器等教材の活用について	活用の意図	Aコミュニケーション支援(<input type="checkbox"/> A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/> A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援(<input type="checkbox"/> B1情報入手支援 <input type="checkbox"/> B2機器操作支援 <input type="checkbox"/> B3時間支援) C学習支援(<input checked="" type="checkbox"/> C1教科学習支援 <input type="checkbox"/> C2認知発達支援 <input type="checkbox"/> C3社会生活支援) D実態把握支援(<input type="checkbox"/> D1実態把握支援) ・平行四辺形の面積の求め方を図形を用いて説明することができる。また説明を通して、面積の求め方を理解することができるようにする。
	使用した支援機器等教材の名称と画像	支援機器 Lenovo 300e PowerPoint(Microsoft)
授業展開	授業展開・支援の手立て	1.多様な図形をPowerPointを用いて、平行四辺形を作成する(図1)。 2.PowerPointを用いて、図形の観察や構成を通して、多角形の意味や性質について理解する(図2)。 3.作成した図形から、面積を求める式を考える(図3)。 4.児童間で、作成した図形を見せ合いながら求め方について共有する。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>図1 タブレットで図形作成</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>平行四辺形の面積の求め方</p>  <p>片方の三角形をもう一方の三角形にくっつけてみると・・・?</p> <p>図2 面積の求め方を考え</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>図3 面積を求める</p> </div> </div>
効果・評価	子供の様子や変容および授業の評価	前時の授業では、鉛筆で平行四辺形を作図したが、マス目を間違え時間内に書くことができなかった。書くことではなく、図形を張り合わせて、作図することに集中できるようにした。 本活動では、作図から平行四辺形の作りを理解することができた。また、作図した図から自分なりの面積を求めることができた(四角形と三角形に分けて求める)。また、他の児童が作図した平行四辺形の図から、異なる面積の求め方を理解することができた。